



第66回生戴帽式

私たちは1年前、希望と不安を抱き岡山赤十字看護専門学校に入学しました。この1年間、多くの基礎知識や看護技術を学び、臨地実習も経験しました。実習では対象と関わることの難しさを痛感しましたが、遣り甲斐も感じ看護とは何かを考えました。5月26日、岡山赤十字病院南館研修室に於いて厳かな雰囲気の中、私たち66回生は戴帽式を迎えることができました。ナイチンゲールから灯火を受け継ぎ、一人ひとり灯火を手に思いをひとつにして、「看護の対象に心から寄り添い、苦しみや痛みを理解・共感し、信頼される看護師を目指します」と誓いました。この誓いを胸に66回生全員で看護師を目指して歩んでいきます。（影山優芽）



